

レポート提供者: 『杏壇』菊地基之
レポート対象者: 保護者

題名

『新しい教育の提案(2)「ディベート」』

『杏壇』の著作権について

『杏壇-Kyodan.com-』のホームページに掲載されている文章・写真・イラスト等は著作権が存在し、各国の国内法による著作権法の保護対象になります。「複製」や「引用」をする際は著作者の承諾を得てください。

複製について

『杏壇 Reports』を複製する際は次の点に気をつけて下さい。

複製する場合は『杏壇-Kyodan.com-』に許諾が必要になります。連絡先等は下記に掲載しています。複製は私的使用の範囲に限られています。私的使用とは「個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること」とです。『杏壇 Reports』を使用人以上の人がダウンロードや印刷をしたり、必要以上にダウンロードや印刷をすることをです。『杏壇 Reports』では「印刷できない」「ダウンロードできない」というかたちで自主的に規制しています。印刷したい場合、有料にて承ります。

引用について

『杏壇 Reports』を引用する際は次の点に気をつけて下さい。

引用する際は『杏壇-Kyodan.com-』に許諾が必要になります。連絡先等は下記に掲載しています。引用する際は引用部分をカギかっこでくるなど、本文と引用部分を明確に区別して下さい。著作者の意図に反した変更・削除はできません。また文章の概要がわかる形で要約することもできません。

「引用」する際、「出所の明示」が義務づけられています。引用部分と著作者名を挙げなければいけません。『杏壇 Reports-Kyodan.com- 題名』の表示が必要です。

連絡先について

『杏壇-Kyodan.com-』への使用許諾の申し込みは、メールのみで承っています。

『杏壇』プライバシーポリシー・著作権係まで privacy@kyodan.com

日本人は話し合いが苦手。

喧嘩になったり、怒鳴り合いになったりする。

しこりを残す。後悔を残す。

なぜなら日本人の話し合いは「勝ち」「負け」になるからだ。

優越者と敗北者ができる。

勝者は勝ち誇り、敗者はわだかまる。

話し合いは喧嘩ではない。

勝者も敗者も出ない。

お互いに問題点を共有し、分かり合い、

解決点(時には妥協点)を見いだす行為だ。

だからお互いに勝者になるはずなのだ。

これからの社会、

コミュニケーションによる問題解決能力は必要不可欠だ。

これを子どもの時から学べたらどんなに意義があることだろう。

子どもにはちゃんとした「話し合い」のできる大人になって欲しい。